



週間情報



No.2944

発行日 平成29年11月14日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 第26回全国消防長会総務委員会を開催

全国消防長会総務委員会

平成29年11月7日(火)、東京都港区(アジュール竹芝)において、第26回全国消防長会総務委員会を開催しました。

会議における議題等は、次のとおりです。

【議題等審議】

- 1 採用試験に関する取組について
- 2 採用試験における色覚検査について
- 3 開催地に関する申合せの改正について
- 4 次期開催地について



【委員会の様子】

◆ 平成29年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催

全国消防長会技術委員会

平成29年11月9日(木)千葉県船橋市(船橋グランドホテル)において、平成29年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催しました。

会議における報告事項等については、次のとおりです。

【報告事項】

- 1 ISO/TC94/SC14国際会議の結果について
- 2 「指令台からのコールバック」がつながりやすくなる5つの機能の携帯電話網への適応に関する調査の結果について

【議案審議】

- 1 遠隔地通報への対応について
- 2 平成30年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会の開催地等について
- 3 第97回全国消防長会技術委員会の開催地について
- 4 第98回全国消防長会技術委員会の開催支部について

【情報交換】

消防車両の小型化について

【情報提供】

平成30年度消防庁予算概算要求について



【委員会の様子】

◆ 全国消防長会東海支部違反是正事例発表会を開催

全国消防長会東海支部

全国消防長会東海支部では、平成29年10月24日（火）、愛知県名古屋市（東文化小劇場）において、消防法令違反是正事例発表会を開催しました。

事例発表に先立ち、名古屋市消防局、常滑市消防本部及び四日市市消防本部がそれぞれ各消防本部における違反是正に対する取り組みや違反対象物に係る公表制度の策定等についてテーマ別発表を行いました。

事例発表では、各消防本部において違反是正が推進されるよう「違反是正支援アドバイザー制度を活用して命令を実施したことにより違反が是正となった事例」及び「他部局との連携や指導窓口を切り替えたことにより違反が是正となった事例」を中濃消防組合消防本部及び名古屋市消防局がそれぞれ発表しました。



【発表会の様子】

◆ 大規模災害対応合同訓練を実施

静岡県東部消防長会

静岡県東部消防長会では、平成29年10月27日（金）、熱海市の伊豆スカイライン滝地山園地において、大規模な林野火災を想定した合同訓練を実施しました。

静岡県東部地区の7消防本部、静岡県消防防災航空隊及び熱海市に隣接する神奈川県湯河原町消防本部が参加し、熱海警察署、伊豆箱根林野火災防止対策協議会及び熱海生コンクリート販売協同組合の関係機関の協力を得て、林野火災が発生したことを想定し、応援、受援体制の検証と各関係機関との連携強化を図りました。

本訓練には、熱海市と熱海生コンクリート販売協同組合との災害時における消防用水等の確保に関する協定書を平成29年9月27日（水）に締結したことから、応援要請からコンクリートミキサー車による組立水槽への給水訓練も実施しました。



【訓練の様子】

◆ 「警防技術交換会」を開催

富山県消防長会

富山県消防長会では、平成29年10月31日（火）、富山県広域消防防災センターにおいて、訓練施設を活用し「警防技術交換会」を開催しました。

本技術交換会は、県下消防職員の災害対応能力及び警防技術の向上を図ることを目的とし、県下の8消防本部(局)、全26消防署(227名)が、木造一般住宅及び鉄骨造共同住宅の火災を想定した先着隊の迅速、的確及び円滑な部隊活動の実施を活動目標に火災防御訓練を実施しました。

訓練は、出動直前まで出火建物及び想定をブラインドとし、その活動内容について各想定建物の検証員から検証結果を受けることで、今後の警防活動に活かすこととしています。



【警防技術交換会の様子】

行事

◆ 防火パレード・マラソンで火災予防を呼びかけ

知多南部消防組合消防本部（愛知）

知多南部消防組合消防本部では、秋の全国火災予防運動に先がけて、平成29年10月24日（火）及び30日（月）、幼年消防クラブの園児による防火パレードが行われ、鼓笛演奏と遊戯を披露しました。また、防火パレードにおいては当消防本部職員も防火のぼりを携えて「火の用心」の掛け声とともに、「防火マラソン」で並走し住民に火災予防を呼びかけました。



【防火パレードの様子】

◆ 自衛消防実務研修会（防災講座）を開催

江別市消防本部（北海道）

江別市消防本部では、平成29年10月24日（火）、秋の全道火災予防運動の一環として、市内事業所が加盟している江別市防火管理者連絡協議会、江別市危険物安全協会の合同事業「自衛消防研修会」を開催しました。

今年度は、日本防災協会北海道事務所所長の佐藤健一氏を講師としてお招きして、「防災講座」を開催し、両会の会員41名が参加しました。参加した事業所の方々は、防災品が燃えにくい性質であり、火災の発生、拡大を防ぐ効果があることについて、関心を持って講座を受けていました。



【防災講座の様子】

◆ 第15回初期消火操法競技大会を開催

島原地域広域市町村圏組合消防本部（長崎）

島原地域広域市町村圏組合消防本部では、平成29年10月27日（金）、自衛消防隊の初期消火技術の習得と向上を図るとともに、職場における防火思想の啓発を図るため、初期消火操法競技大会を開催しました。

管内17事業所から19チームの参加があり、大会は3名一組が水消火器及び屋内消火栓を使用した初期消火、傷病者の搬送、避難誘導及び119番通報を協力して行い、的確な行動と連携及び所要タイムを競いました。参加した事業所からは、「この大会を通じて学んだことを、職場での防火意識の向上に繋げたい。」などの声が聞かれました。



【競技大会の様子】

◆ 防火フェスティバルを開催

佐世保市消防局（長崎）

佐世保市消防局では、平成29年11月2日（木）、佐世保市体育文化館において、市内の保育園や幼稚園36クラブ、1,373名の幼年消防クラブ員及びその指導者、保護者など1,603名が一堂に会する「第19回母と子の防火フェスティバル」を開催しました。

式典では、各クラブの趣向を凝らした様々な「まとい」を先頭にクラブ員が法被姿で入場し、「私たちは、絶対に火遊びをしない、よい子になります！」と、みんなで元気良く「防火の合い言葉」を誓い合いました。

アトラクションは、消防音楽隊による演奏から始まり、消防ファッションショーや消防クイズで、消防の仕事についてクラブ員にわかりやすく教え、また、消防職員の寸劇により火の怖さを理解させることができました。

最後に幼年消防クラブ全員で「火の用心踊り」を元気よく踊り、盛会のうちに終了できました。



【フェスティバルの様子】

◆ まつりの踊り連で火災予防をPR

薩摩川内市消防局（鹿児島）

薩摩川内市消防局では、平成29年11月5日（日）、「薩摩川内はんやまつり」において、消防局、消防団及び幼年消防クラブで総勢230名の踊り連を結成し、そろいの防火はっぴを着用し、まといのぼり旗を高く掲げ、「よいやさ～よいやさ～」「火の用心！」と声を出しながら街を軽快なリズムにのって練り歩き、火災予防をPRしました。

昭和44年から始まったこの祭りは、当市の3大イベントの1つでもあり、約60団体5,000人が参加するもので、多くの来場者が観覧し、市外の方々へも火災予防を呼びかけることができました。

消防を好きになってもらえることが火災予防の第1歩。今後も、様々なイベントで火災予防をPRしていきます。



【踊り連の様子】

◆ 火災予防パレードを実施

恵那市消防本部（岐阜）

恵那市消防本部では、平成29年11月5日（日）、管内の重要伝統的建造物群保存地区において、秋の火災予防運動に先駆け、少年消防隊、女性防火クラブ、消防団員、消防団員OB、協力参加の中京学院大学附属中京高等学校チアリーダー部など総勢129名が参加する火災予防パレードを実施しました。

パレードの途中では、消防団音楽隊による演奏、協力参加の中京高等学校チアリーダー部の演技披露など、パレードを盛り上げるとともに、地域住民への火災予防を呼びかけました。



【パレードの様子】

◆ 防火フェアを開催

磐田市消防本部では、平成29年11月5日（日）、ららぽーと磐田において、「防火フェア2017」を開催しました。

本防火フェアでは、消防団、女性防災クラブ連絡会、少年消防クラブ運営指導協議会及び危険物安全協会とともに、消防車両展示、消防クイズラリー、子供用消防服の体験、はしご車搭乗体験、水消火器体験、小学校の防火ポスター展示及び表彰などのイベントを行い、住宅用火災警報器の啓発チラシを配布するなど大勢の来客者に火災予防啓発を行いました。

磐田市消防本部（静岡）



【フェアの様子】

◆ 平成29年度（第52回）自衛消防隊消防操法大会の開催

尼崎市内の事業所で構成される尼崎市防火協会では、平成29年11月7日（火）、武庫川河川敷において自衛消防隊による消防操法大会を開催しました。

大会当日は、消火器操法に8隊16名、屋内消火栓操法に8隊16名、屋外消火栓操法に8隊24名、小型動力ポンプ操法に8隊40名、自動車ポンプ操法に2隊14名の合計34隊110名が出場し、研鑽練磨した初期消火訓練の成果を公開しました。

尼崎市消防局（兵庫）



【操法大会の様子】

訓練・演習

◆ 宿泊施設で合同消防訓練を実施

桑名市消防本部では、平成29年10月30日（月）、東建多度カントリークラブ名古屋ホテル多度温泉レジデンス新館において、合同消防訓練を実施しました。

本訓練は、平成29年度秋季火災予防運動に先立ち、事業所の消防計画に基づき従業員及び消防署との連携協力体制の強化を図り、災害対応力の向上を図ることを目的として実施しました。

事業所と合同で訓練を実施することで、より一層の火災予防の向上が図れるように努めてまいります。

桑名市消防本部（三重）



【訓練の様子】

◆ 東北自動車道埼玉県消防連絡協議会合同訓練を実施

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、平成29年10月31日（火）、市立グリーンセンター駐車場において、高速道路上での交通事故に係る関係機関の連携強化を目的とした合同訓練を実施しました。

本訓練には、東北自動車道埼玉県消防連絡協議会会員である川口市消防局、埼玉東部消防組合消防局、館林地区消防組合消防本部（群馬県）、さいたま市消防局、蓮田市消防本部、羽生市消防本部、東日本高速道路（株）関東支社加須管理事務所の7機関と、埼玉県警察本部高速道路交通警察隊、川口市立看護専門学校の合計9機関が参加しました。

本訓練は、高速道路本線上で車両複数台の関係する多重交通事故により多数の負傷者が発生したとの想定で、無人航空機による上空からの状況確認に始まり、負傷者搬送まで各機関の連携した活動を実施し、連携強化を図ることが出来ました。



【訓練の様子（無人航空機による空撮）】

◆ 和歌山県石油コンビナート等総合防災訓練の実施

海南市消防本部（和歌山）

海南市消防本部では、平成29年11月2日（木）、関西電力株式会社海南発電所で実施された、和歌山県石油コンビナート等総合防災訓練に参加しました。

本訓練は、石油コンビナート地域において大規模な災害が発生したことを想定し、和歌山県石油コンビナート等防災計画に基づき、各防災関係機関・事業所の協力体制の強化を図ることを目的に、企業、消防、警察、海上保安庁などの関係機関が共同で訓練を実施しました。

今後も、災害発生時の各関係機関との連携強化に向け取り組んでいきます。



【訓練の様子】

◆ 東京外環自動車道埼玉県消防連絡協議会合同研修を実施

草加八潮消防局（埼玉）

東京外環自動車道埼玉県消防連絡協議会（事務局：草加八潮消防局）では、平成29年11月2日（木）、東京外環自動車道三郷南インターチェンジ付近の千葉延伸の未開通区間において、合同訓練を実施しました。

本訓練には、協議会会員である県内6消防（局）本部（さいたま市消防局、川口市消防局、戸田市消防本部、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部、三郷市消防本部、草加八潮消防局）及び東日本高速道路株式会社関東支社の計7団体が参加し、東京外環自動車道における連携強化を図ることを目的に実施しました。

訓練は、建設工事中の高速道路上で実施できるという貴重な体験となり、関係機関相互の共通理解を深めた有意義なものとなりました。



【訓練の様子】

その他

◆ 「ジュケーキ」で住警器の設置・維持管理の促進

姫路市消防局（兵庫）

姫路市消防局では、平成29年10月30日（月）から管内の洋菓子店10社16店舗の協力を得て、住宅用火災警報器（略して、住警器）をモチーフとした「ジュケーキ」を製造・販売するキャンペーンを実施しました。

「ジュケーキ」を契機に、住宅用火災警報器をより身近に感じてもらい、住宅用火災警報器の設置率のさらなる向上及び適正な維持管理を図ることを目的に、秋季全国火災予防運動の一環行事として実施しました。

「ジュケーキ」の売り上げは好調で、このキャンペーンを通して、住宅用火災警報器の重要性・必要性を改めて市民の方に広く発信できました。



【キャンペーンの様子】

◆ マタニティ用執務服を導入

新城市消防本部（愛知）

新城市消防本部では、平成29年11月1日（水）から、福利厚生の一環としてマタニティ用執務服を導入しました。

この執務服は、腹囲を腰紐で調整できる仕様となっており、身体に掛かる負担を軽減できるものとなっています。

当消防本部では現在、妊娠8ヶ月と妊娠5ヶ月の職員がおり、職員からは好評を得ています。

今後も、女性を含めた全職員が働きやすい職場環境づくりを進めてまいります。



【マタニティ用執務服】

◆ 防火・防災教育の啓発動画「コロコロマーチ～津島編～」を作成

津島市消防本部（愛知）

津島市消防本部では、平成29年11月1日（水）から、防火・防災啓発ソング「コロコロマーチ～津島編～」を動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」及び市ホームページで公開しました。

市消防団女性部が、子どもたちに、防火・防災への意識を高めてもらうため、作詞・作曲、振り付けを考え、着衣に着火した場合の消火方法を子どもたちにイメージしてもらいやすくするために、「コロコロマーチ～津島編～」と命名しました。動画には消防長を始めとする消防職員や消防団員・婦人防火クラブ員がコミカルに踊っています。

今後も防火イベントなどで披露し、更なる防火・防災意識の向上を目指していきます。



【コロコロマーチの画像】

- 本動画は、津島市ホームページ
(<https://www.city.tsushima.lg.jp/shisei/koukokugyouji/topics/h29korokoro.html>)、
Y o u T u b e (<https://youtu.be/59hjEgbFS1Y>) で視聴できます。

◆ 救急振興財団寄贈の救急普及啓発広報車受贈

名西消防組合消防本部（徳島）

名西消防組合消防本部では、平成29年11月2日（木）、一般財団法人救急振興財団より、住民の救急業務への正しい理解の促進と応急手当の普及啓発活動の積極的支援を目的とした、救急普及啓発広報車の寄贈を受けました。

救急講習会や各種イベントで活用し、一人でも多くのバイスタンダーを養うことで、救命率の向上に繋がるよう役立ててまいります。

なお、本事業においては、一般財団法人日本宝くじ協会から助成を受けています。



【救急普及啓発広報車】

消防庁通知等

◆ 「避難行動要支援者名簿」の早急な作成等について

(11月2日、府政防第1366号・消防災186号)

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（被災者行政担当）及び消防庁国民保護・防災部防災課長より、各都道府県消防防災主管部長あてに次のとおり、通知されましたのでお知らせします。

消防庁において、市町村の「避難行動要支援者名簿」の作成等に係る取組状況の調査結果について、別添のとおり取りまとめ、本日、報道発表を行いました。（別添省略）

内閣府及び消防庁においては、これまでも避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成や平常時からの名簿情報の提供等に係る各市町村の取組を推進してきたところです。

本年7月の九州北部豪雨災害でも、名簿情報が平常時から地域の避難支援等関係者に提供され、それを基に避難支援の計画が作成されていたことから、円滑かつ迅速に避難支援等が行われ、人的被害が軽減した地域もあったところです。

今般、消防庁が実施した調査では、前回調査した平成28年4月1日時点から作成状況は改善していますが、未だに名簿を作成していない市町村があります。

については、下記の事項に御留意の上、名簿を作成していない市町村における早期作成、平常時からの名簿情報の提供等の促進について、必要な取組を行っていただくとともに、貴管内市町村に対し、下記事項を周知いただくようお願いいたします。

なお、本通知は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4第1項に基づく技術的助言として発出することを申し添えます。

記

1 災害に備えた名簿の早期作成

平成26年4月1日に関係法令が施行され、名簿の作成が義務付けられてからすでに3年以上経過していることを踏まえ、年度内に作成予定と回答した市町村を含め、未作成の市町村は早急に名簿を作成すること。

2 平常時における名簿情報の提供等

- (1) 災害時に円滑かつ迅速に避難支援等を行うためには、平常時から民生委員、消防機関、自主防災組織等の避難支援等関係者に名簿情報を提供しておくことが有用であることから、内閣府及び消防庁がこれまで提供してきた「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針（平成25年8月）」、「避難行動要支援者の避難行動支援に関する事例集（平成29年3月）」等を十分活用し、取組を進めること（（参考1）を参照）。（参考1省略）
- (2) 名簿情報の提供については、条例で特別に定めることにより、避難行動要支援者本人の同意の有無にかかわらず、災害の発生に備え、避難支援等の実施に必要な限度で、平常時から避難支援等関係者に提供できるとされており、市町村の実情に応じ、こうした対応を検討すること（（参考2）を参照）。（参考2省略）

<問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（被災者行政担当）付
吉野補佐、中村主査付
TEL 03-3501-5159
FAX 03-3502-6034
消防庁国民保護・防災部防災課
光永災害対策官、岡戸係長、中野事務官
TEL 03-5253-7525
FAX 03-5253-7535

- 全文は、消防庁ホームページ
(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2911/pdf/291102_fuseibou1366_sai186.pdf) に掲載されています。

報道発表

◆ 「第23回全国女性消防団員活性化広島大会」の開催 (11月9日、消防庁)

全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果を紹介するとともに、意見交換を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的として、全国女性消防団員活性化大会を広島県で開催します。

消防団の活動が多様化するなか、平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、消防団の一層の充実強化が進められています。

地域コミュニティーと深くつながり、きめ細かな視点を持つ女性消防団員は、災害発生時のみならず、平常時に於いても地域住民に対する応急手当の普及、高齢者住宅への防火訪問、子ども達への防火防災教室の開催など、地域社会の安心・安全を確保する上で欠くことのできない大きな存在となっています。

本大会では、全国の女性消防団員が広島県に集まり、パネルディスカッションや活動報告等を通じて、女性消防団活動の活性化を図ります。

1 開催日時及び場所

日時：平成29年11月16日(木) 10:00～16:00

場所：「広島グリーンアリーナ」(広島県広島市中区基町4-1)

2 大会テーマ

「ようこそ 平和を未来につなぐ広島へーみんなで減災！ 輝け 消防女子ー」

3 内容(※詳細別紙) (別紙省略)

(1) 活動報告：防火防災啓発劇、活動事例発表

(2) 記念講演

(3) パネルディスカッション

4 参加人員 約3,300名

5 主催及び共催

＜主催＞消防庁、(公財)日本消防協会、(公財)広島県消防協会、第23回全国女性消防団員活性化広島大会実行委員会

＜共催＞広島県、広島市

＜後援＞広島県市長会、広島県町村会、広島県消防長会、広島県女性防火クラブ連絡協議会、(一財)消防試験研究センター

(連絡先)

消防庁国民保護・防災部地域防災室

担当：加藤補佐、佐久間係長、中島事務官

電話：03-5253-7561(直通)

FAX：03-5253-7576

e-mail：syobodan@ml.soumu.go.jp

- 全文は、消防庁ホームページ
(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/11/291109_houdou_1.pdf) に掲載されています。

情報提供

◆ 第11回階段駆け上がりレース東京大会の開催について～ Stair Race 2018 in TOKYO ～ 第11回階段駆け上がりレース東京大会実行委員会

消防職員の体力と自己管理能力の向上、消防職員間の交流及び市民へ消防行政への広報を目的として、階段駆け上がりレース（ステアーレース）東京大会が、平成30年3月10日（土）に東京タワーで開催されます。

11回目となる今大会は、東京タワーのフットタウン屋上から大展望台までの約150メートルの高さを、火災現場活動時の服装である防火服、防火ヘルメットを着装して空気呼吸器を背負い、約600段の外階段を駆け上がって安全性とタイムを競います。ステアーレースは、欧米では100年以上の歴史を持ち、市民にも大変人気のある競技で、日本国内においても、アメリカ同時多発テロで犠牲になった同志の追悼も含め、平成19年から開催されるようになりました。

各本部の参加及びボランティアへのご協力をお待ちしております。

- 1 開催日時 平成30年3月10日（土）10時00分～14時00分〔予定〕
- 2 開催場所 東京タワー
- 3 主催 日本警察消防スポーツ連盟
- 4 運営 第11回階段駆け上がりレース東京大会実行委員会
- 5 定員 選手150名〔予定〕（消防官、警察官、海上保安官、消防団員など）
- 6 募集期間 平成29年11月15日から先着順
- 7 申込方法 日本警察消防スポーツ連盟ホームページ
(<http://jpfsfwpg.wixsite.com/jpfsf>) から申し込めます。
(レース詳細も掲載)
- 8 問い合わせ先 <mailto:stair-tokyo2018@kakeagari.jp>
第11回階段駆け上がりレース東京大会実行委員会（担当 小林）



【大会の様子】

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp